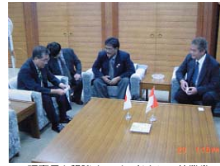


- ◎ [インドネシア林業省森林火災対策局長来所](#)
- ◎ [北村農林水産副大臣が当所を視察](#)
- ◎ [独立行政法人評価委員会開催](#)
- ◎ [サイエンスキャンプ2003実施](#)
- ◎ [夏休み昆虫教室開催](#)

#### ◎インドネシア林業省森林火災対策局長来所

インドネシア林業省の森林火災対策局長Tri Wibowo氏が、JICAインドネシア森林火災予防計画プロジェクトのプログラムの一環として2003年7月23日に来所しました。理事長と森林火災に関する現状と当所における研究について話し合いました。その後、森林モニタリングの森林火災予防への活用、日本における森林火災に対する取り組みの現状、カリマンタンでの森林火災による森林劣化と生物多様性の密接な関係についての研究概要を説明しました。局長からは、泥炭やコークの地中火の問題が述べられました。



理事長と懇談するインドネシア林業省森林火災対策局長（右から2人目）

#### ◎北村農林水産副大臣が当所を視察

去る7月30日（水）、北村農林水産副大臣が森林総合研究所を視察されました。つくばの森林研究園地視察の一環として来所されたものです。田中理事長による研究所の概要説明に引き続き、石塚植物生態研究領域長が「森林のCO<sub>2</sub>吸収メカニズムに関する研究」の成果を紹介、また神谷構造利用研究領域長が耐震実験棟にて「住宅等の木質構造物の構造安全性に関する研究」の現状を説明しました。わずか25分と限られた視察時間ではありましたが、地球環境の問題や安全・快適な住環境の問題に対して取り組んでいる当所の研究業務の一端をご理解いただけたのではないかと思います。



特別会議室にて（北村農林水産副大臣（左から3人目））

#### ◎独立行政法人評価委員会開催

去る6月23日（月）、第11回独立行政法人評価委員会林野分科会が開催され、森林総合研究所が既に提出していた平成14年度の事業報告書、財務諸表、評価シートに対して、この分科会における具体的な評価作業が行われました。

その後、7月17日（木）、第12回林野分科会が開催されました。評価結果等詳細については、ホームページにて公開していくこととなります。

#### ◎サイエンスキャンプ2003開催

去る8月6日（水）から8日（金）までの3日間、サイエンスキャンプ2003（平成15年度）を行いました。このイベントは、全国の高校生を対象に、さまざまな分野の研究機関などを会場にして、実際に実験や調査などを体験することで科学技術に対する興味を深めてもらうというもので、当所では6回目の開催となりました。今回は、「A. 森の中の多様な植物たちを訪ねるコース」、「B. 昆虫のフェロモンの不思議を探るコース」、「C. 木の良さを使い方を知るコース」の3コースを設け、全国から11名の高校生が参加しました。

Aコースは筑波山近くの加波山で植生調査を行って、人工林と天然林との植生の違いを解析したり、Bコースは昆虫からフェロモンを集めて化学構造を分析したり、Cコースは住宅などへの木材の使い方を調べ、木の快適性を高校生自ら被験者となって実験するなど、森林総研ならではの研究を体験してもらいました。3日間で得られた成果がコースごとに報告された後、修了証が理事長から手渡され、サイエンスキャンプは無事に終了しました。



化学構造分析のための試料の調製(Bコース)



人工気候室内での生理的測定法実習(Cコース)



大会議室でのキャンプまとめ発表会



正面玄関で記念撮影



加波山での植生調査(Aコース)

#### ◎夏休み昆虫教室開催

去る8月10日（日）、台風一過の青空のもと夏休み特別企画「昆虫教室」を当所大会議室および樹木園にて行いました。台風10号襲来のため、当初予定の開催日9日を一日延期しての実施でしたが、申込みをいただいていた方々の数多くが参加していただき安心でした。

午前の部と午後の部を合わせて、子供21名、大人28名、総勢49名の参加者が、福山昆虫研究領域長はじめ領域スタッフの指導のもと、蝶の展翅やカブトムシの腹足に挑戦し標本の作り方を勉強しました。また標本作りの合同には樹木園で雨傘を使った虫の捕り方も実習しました。

できあがった標本を手に手に嬉しそうに帰る子供達を見ていると、この企画が好評であったことを確信しました。

